

# その他検討事項について

---

# 「全国通訳案内士」の外国語表記について

- 改正通訳案内士法により、名称独占資格となった「全国通訳案内士」（地域通訳案内士も含む。）について、無資格ガイドとの混同を避ける観点から、統一的な外国語表記の整理が必要なところ。
- 現在の通訳案内士の外国語表記として、通訳案内士登録証には「National Guide Certificate」と記載しているが、法改正後においてどのような外国語表記が望ましいと考えるか。

## 法改正前

( 表 面 )

5.4センチメートル

通訳案内士登録証  
National Guide Certificate

合格外国語  
Language

氏名  
Name

登録番号 第 号  
Cert.No.

交付年月日 年 月 日  
Date of Issue

都道府県知事 印  
Governor of

2.5センチメートル

写真

押出し  
スタンプ  
又は印

3センチメートル

8.6センチメートル

( 裏 面 )

5.4センチメートル

登録年月日 年 月 日

生年月日 年 月 日

住 所

代理人（非居住者に限る。）

備 考

8.6センチメートル

登録証では、通訳案内士を「National Guide」と表記。

## 法改正後

( 表 面 )

5.4センチメートル

全国通訳案内士登録証  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

合格外国語  
Language

氏名  
Name

登録番号 第 号  
Cert.No.

交付年月日 年 月 日  
Date of Issue

都道府県知事 印  
Governor of

2.5センチメートル

写真

押出し  
スタンプ  
又は印

3センチメートル

8.6センチメートル

( 裏 面 )

5.4センチメートル

登録年月日 年 月 日

生年月日 年 月 日

住 所

代理人（非居住者に限る。）

備 考

8.6センチメートル

業務独占規制の廃止により、「全国通訳案内士」が国家資格（一定の水準以上の知識）を有する者であることを公証する観点から、外国語表記の変更が必要ではないか。

# 想定される外国語表記について

- 「全国通訳案内士」の外国語表記について、例えば以下の案が考えられるところ、どのような表記が適切か。

## 想定される外国語表記（案）

- Certified National Guide Interpreter
- National Certified Guide Interpreter
- Licensed National Guide
- Qualified National Guide
- etc...

## 通訳案内士団体等からの意見

- Certified National Guide
- National Licensed Guide Interpreter

## （参考）JATA内で旅行業関係用語の英語表記

総合旅行業務取扱管理者： **Certified** General Travel Services Manager

国内旅行業務取扱管理者： **Certified** Domestic Travel Services Manager

※他言語（資格10言語）においても同意語を通達などで標記する。

# 全国通訳案内士等の類似する名称について

- 法改正後の名称独占規制の下、無資格ガイドが公に認定を受けている等の誤認をされることを防ぐ観点から、全国通訳案内士及び地域通訳案内士の類似名称を整理し、これを公表することにより、周知を図っていく必要がある。
- そのため、類似名称についてどのような考え方により整理すべきか。

## 整理する名称の構成例（案）

### 1. 単純な名称

「通訳ガイド」(×) 等

※「通訳ガイド」は、**通訳案内士と誤認される可能性**がある。

### 2. 地名+ガイド

「日本ガイド」(×)、「(地域名)ガイド」(×) 等

※**全国通訳案内士や地域通訳案内士と同様**に、地名+ガイドを名乗ることにより、**有資格者と誤認される可能性**がある。

### 3. 公主体+ガイド

「国家ガイド」(×)、「政府ガイド」(×)、「〇〇市ガイド」(×) 等

※「公主体+ガイド」と名乗ることにより、**「政府や自治体等が認定したガイド」と誤認される可能性**がある。

### 4. 行為+ガイド

「認定ガイド」(×)、「登録ガイド」(×) 等

※「行為+ガイド」と名乗ることにより、**「公主体等から認定されたガイド」と誤認される可能性**がある。

### 5. 高品質+ガイド

トップガイド(×)、スペシャルガイド(×)、ハイレベルガイド(×) 等

※「高品質+ガイド」と名乗ることにより、**有資格者と同等の知識・能力と誤認される可能性**がある。